



2019年8月9日

各位

会社名 ルーデン・ホールディングス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 西岡 孝  
 (JASDAQ・コード1400)  
 問合せ先 取締役管理部門管掌兼管理本部長  
 佐々木 悟  
 電話 03-6427-8088

## 2019年12月期第2四半期累計期間 業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2019年2月13日に公表した2019年12月期第2四半期累計期間(2019年1月1日～2019年6月30日)の業績予想と実績に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2019年12月期第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異(2019年1月1日～2019年6月30日)

##### (1) 連結

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,544	百万円 36	百万円 40	百万円 20	円 銭 1. 67
実績値(B)	1,329	△1	5	△10	△0. 83
増減額(B-A)	△215	△37	△35	△30	—
増減率(%)	△13.9	—	△87.5	—	—
(参考)前期第2四半期実績 (2018年12月期第2四半期)	1,755	60	69	49	4. 40

## (2) 個別

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 181	百万円 1	百万円 △2	円 銭 △0. 21
実績値 (B)	184	26	16	1. 36
増減額 (B - A)	3	25	18	—
増減率 (%)	1.6	—	—	—
(参考) 前期第2四半期実績 (2018年12月期第2四半期)	519	134	118	10. 44

## 2. 差異の理由

### (1) 連結

売上高におきましては、ハウスクエア事業に関しまして、中古マンション市場及び代理店事業が結果を出し、また、ビル総合事業においても新規取引先を獲得する等で順調に推移いたしました。しかし、総合不動産事業においては、物件販売が後ずれ等したため上記のように差異が生じました。

そして、利益面におきましては、ハウスクエア事業については、予想以上でしたが、ビル総合管理事業において求人募集費や現場人件費の増額等の影響があり、総合不動産事業についても、物件販売が後ずれ等したため、前回発表予想を下回りました。

### (2) 個別

売上高におきましては、ほぼ想定通りで推移いたしました。

また、利益面においては、外注費や広告宣伝費の削減及び保有不動産の賃料収入が寄与し、上記のとおり差異が生じました。

第2四半期累計期間の業績予想と実績に差異は生じましたが、上述の通り、不動産販売の後ずれによるもので、通期においては想定通り販売が出来る見込みのため、通期の業績予想については、前回業績予想から変更ありません。また、個別においても、経費削減は継続しますが、一過性のものもあるため、前回業績予想から変更ありません。

(注) 上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上